

VI ユース水フォーラムアジア

令和 5 年（2023 年）11 月 11 日に「ユース水フォーラムアジア」を本市で開催しました。

同フォーラムは、各国のユース世代が自国の水に関する課題や保全の取組を発表することで、相互に学びを深めるとともに、国際交流の経験により、将来国際的に活躍できる人材を育成することを目的としています。

また、ユース世代の取組を世代や国を超えて広げていくことで、アジア地域を含め世界の水問題解決の一助となることを目指します。

1 開催概要

名 称：ユース水フォーラムアジア

開催日：令和 5 年（2023 年）11 月 11 日（土）、12 日（日）

主 催：熊本市、日本水フォーラム、韓国水フォーラム

共 催：東京エレクトロン九州 株式会社、（公財）肥後の水とみどりの愛護基金

テーマ：世界の水問題解決のためにできること

会 場：熊本ホテルキャッスル（熊本市中央区城東町 4 番 2 号）

参加国：日本を含む 3 か国（ビデオメッセージ参加含む）

2 成 果

大西市長は、高校生の発表を聞いて「若い皆さんの発表を聞き、非常に頼もしく、嬉しく思った。今後、水問題はより深刻になるだろう。互いに協力して解決してくれることに期待する。ユースの活動の場を増やすことで、多様な考えを持つ若い人々が水問題に関心を持つこととなり、必ず未来の希望につながっていくと期待している。」と述べました。

また、大西市長は、ユースへの支援として「今は発信の場があるから、わかりやすく世界に発信し、共感する人を増やしていくことが重要。言葉・文化・国交の壁はあるが、若者の方がすぐに仲良くなれる。価値観の違いをぶつけ合い、摩擦を生みながらも新しい世界を作っていくしてほしい。（大人は）世界水フォーラムをはじめ、ユースの発信の場を提供していくことが重要。私も市長として最大限の努力をしたい。」と述べました。

3 開催後の取組

サミットの成果を一過性のものとせず、世界に認められた本市の地下水保全の取組を未来に確実に引き継いでいくため、引き続き、地域、企業、団体と協力しながら、高校生を中心とした若い世代の活動をサポートしていきます。